

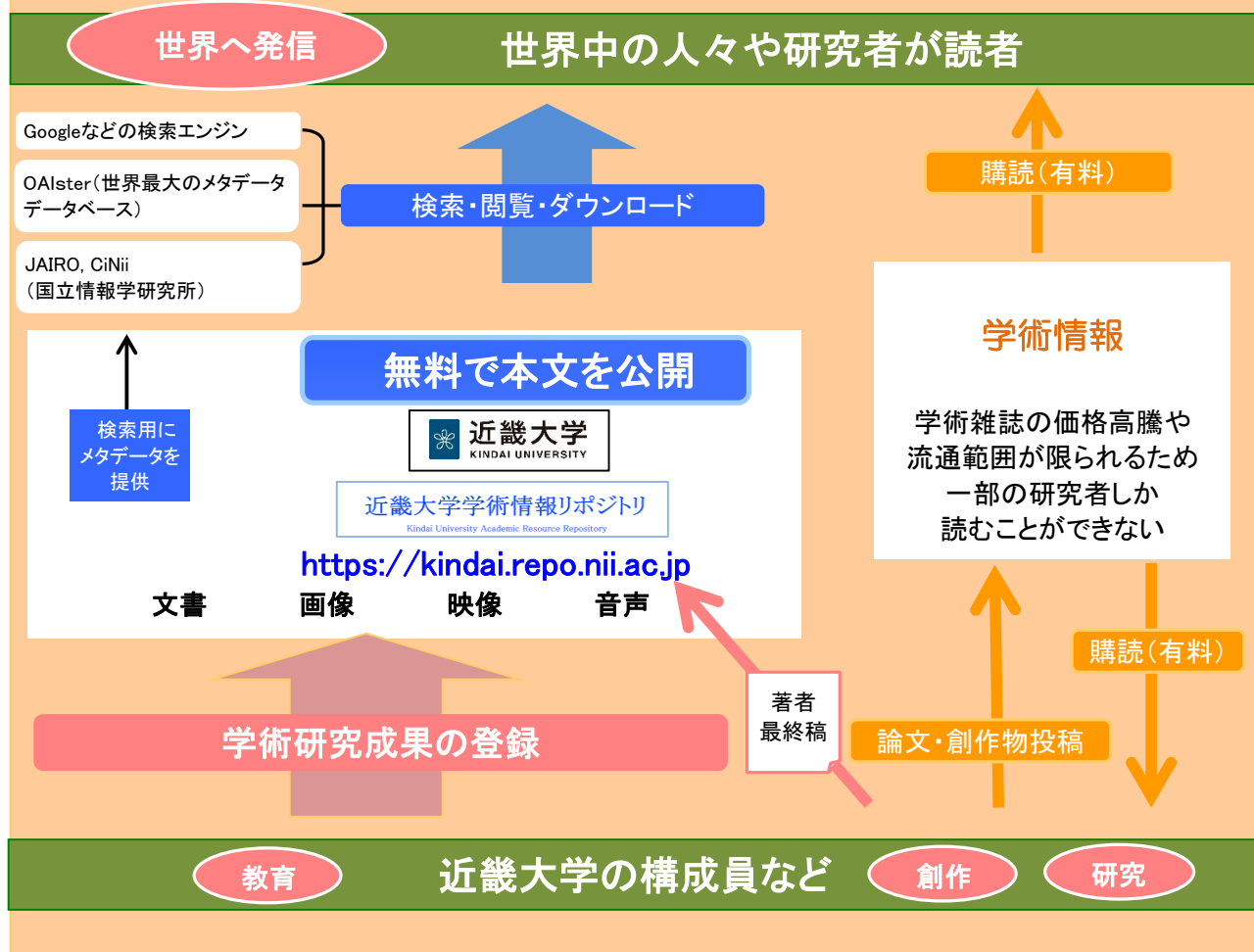
近畿大学学術情報リポジトリとは

近畿大学学術情報リポジトリは、本学で生産された学術研究成果を収集・蓄積・保存し、インターネットを通じて無償で学内外へ発信するための電子的書庫です。

本学の学術研究成果を一元的管理し発信することで、学術情報の管理コストを低減できます。また国内外における大学の知名度・ブランドイメージを高め、大学としての社会に対する教育・研究活動の説明責任を果たすことができます。

リポジトリへの登録により、Google等の検索エンジンを通じて学術研究成果の検索が可能になります。質の高い研究成果を誰でも無料で入手できるようになり、広く社会と学術の発展が期待されます。

近畿大学学術情報リポジトリのしくみ



◆提供者のメリット

学術研究成果の可視性向上

Google等の検索エンジンに加え、JAIRO, CiNii(国立情報学研究所)やOAIster(世界最大のメタデータデータベース)を通じて、世界中のリポジトリを横断検索できるので可視性が向上します。またこれまで一部にのみ流通していた資料の入手を容易にします。その結果、学内外に対し研究への認知と理解を期待できます。



影響力(インパクト)の向上

無料で世界中に発信することで、研究の影響力(インパクト)や論文の被引用率の向上が期待できます。



研究業績の保存・継承

散逸しやすいデジタルデータを個人の手から大学の一元的管理へ移行することで、研究業績(学術研究成果)の永続的な保存と発信が保障されます。
自身の研究業績をリポジトリで包括的に保存でき、利活用がおこなえる上、収集・管理され、後世に継承されます。

◆登録できるコンテンツ

- 学術論文
- 科学研究費補助金研究成果報告書
- 学内研究助成金成果報告書
- 紀要掲載論文
- 講義資料・教材
- シラバス
- 学位論文
- 学会関連資料
- その他

* 文書・画像ファイル(WorD、Power Pointなど)は基本的に電子ファイル(PDF)に変換の上、公開します。

* 特許申請などにかかわらず一定期間公表できないものは、希望日以降の公開となります。

◆著作権について

著作権はどうなるの？

リポジトリに公開・登録されても著作権は移転しません。
著者の許諾を得た学術研究成果のみ登録・公開します。

著作権が著者にある場合

著者の許諾により公開可能

共著者がいる場合は、全員の許諾を事前におとりください。

著作権が出版者にある場合

出版者の許諾があれば公開可能

商業出版社や学協会から発行される学術雑誌に掲載された論文の著作権は多くの場合、発行者へ譲渡されています。
海外の出版社の9割は掲載された論文を機関リポジトリへ登録することを認めています。公開可否の最終的な判断は、出版者等の示す条件のもとで図書館が行います。

◆リポジトリ登録手順

登録できる方は？

近畿大学の構成員（教員・職員・大学院生等）、または構成員だった方

1. リポジトリ公開許諾書のご提出＆コンテンツのご提供

「リポジトリ登録許諾書」の提出

- 必要事項を記入し、提出してください。

メールに電子データを添付

または

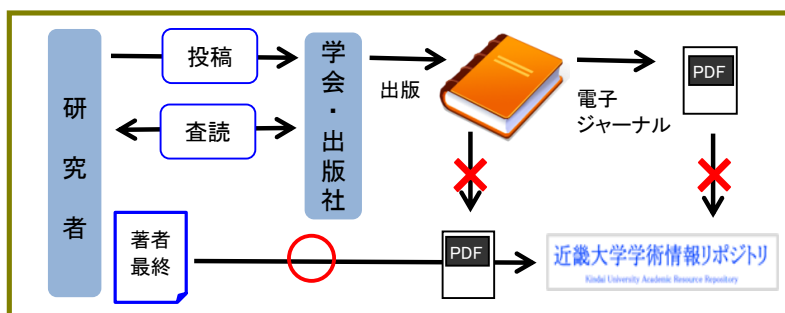
印刷物や電子メディアを送付



- 学術論文の場合、公開されている出版社版のPDFファイルや別刷はそのまま登録・公開できない場合があります。ただし海外出版社の9割は、著者最終稿であれば利用を許諾しています。なるべく著者最終稿を保存し、ご提供ください。

著者最終稿とは？

- 雑誌へ投稿する査読済み原稿
- 査読のない雑誌に投稿された最終的な原稿
- 掲載された論文とはレイアウト等が異なる場合がある。



2. 図書館で登録作業

著作権の確認

リポジトリで公開可能かどうか、出版社等の許諾状況を確認します。

電子ファイル(PDF)へ変換

文書・画像ファイル(Word、Power Pointなど)は編集不可のPDFに変換の上公開します。

メタデータ(書誌事項)の付与

- Title
- Abstract
- Authors
- Keyword

メタデータを付与することで検索精度が向上します。

3. リポジトリへ登録＝世界へ発信

【紀要の登録】

1. 紀要の公開(納本)について

近畿大学中央図書館および国立国会図書館へ納本してください。

※中央図書館へ：冊子体1冊(中央図書館受入)とリポジトリ公開用に電子データをご提供ください。

なお、発注時に透明テキスト付のPDF(CD-ROMに保存)でも納品するようにご依頼ください。

また、下記の点についてもご注意ください。

- ・冊子体で発行した内容・様式と同じであること。
- ・本文以外(表紙・裏表紙・目次等)も含めること。
- ・PDFの解像度は400dpiで統一すること。
- ・特殊(多彩なフォントは、電子化の際に容量が重くなり、また文字化けする恐れがあるので極力使用しないこと。

※国立国会図書館へ：冊子体1冊を下記に納本してください。

参照：<https://www.ndl.go.jp/jp/collect/deposit/request.html>

宛先：〒100-8924 東京都千代田区永田町1-10-1

国立国会図書館 収集書誌部 国内資料課

2. ISSN(国際標準逐次刊行物番号)の取得

紀要等、雑誌を創刊した場合は、逐次刊行物の流通と書誌管理のため、取得するのが望ましいです。

登録は無料ですが、国立国会図書館(ISSN日本センター)に発行者が申請する必要があります。

【学術雑誌論文の登録】

雑誌・学会誌などに掲載された論文は、著作権が著者から発行元(出版社・学協会)に譲渡されている場合があります。登録に際しては、必ず著作権の所在確認をお願いします。

1. 外国雑誌の場合

多くの出版社が、条件付きでリポジトリへの登録を認めています。特に著者最終稿は、ほとんどの出版社が登録を認めています。著作権の許諾状況については、「SHERPA/RoMEO」でご確認ください。

<https://www.sherpa.ac.uk/romeo/>

2. 邦文雑誌の場合

日本の場合は、リポジトリへの登録に関するポリシーを公表していない出版社も多いです。著作権の許諾状況については、「SCPJ 学協会著作権ポリシーデータベース」でご確認ください。

<https://jpcoar.repo.nii.ac.jp/page/133>

【その他】

論文に「写真や図版」を引用する場合は、電子化公開を前提として、事前に権利処理をお願いします。

また、プライバシーには充分ご配慮くださいますようお願いいたします。

なお、学術雑誌論文登録に当たり、ご不明な点はリポジトリ担当までご連絡ください。

【お問合せ先】

リポジトリ担当

近畿大学中央図書館 図書総務担当

〒577-8502 大阪府東大阪市小若江3-4-1

TEL (06)4307-3086 FAX (06)6730-2561

E-mail clib@itp.kindai.ac.jp

2026.7更新